

若手技術者と熟練技術者の交流会 開催報告 第3回 山田憲明構造設計事務所 山田憲明氏

(一社) 日本建築構造技術者協会
若手部会 築館 明智 (株)松田平田設計

1. はじめに

JSCA 若手部会では、若手技術者の技術力向上と成長のために、講演会や見学会等のイベントや組織を超えた技術者同士の交流会を実施する活動を行っている。第一線で活躍されている熟練技術者の方をお招きし、ご講演並びに講演者と参加した若手技術者が直接会話し交流出来るイベントを企画した。熟練技術者との対話によって強い刺激を受けると共に、組織を超えた横の繋がりを作ることで技術者個人だけではなく業界全体を活性化させるような貴重な機会になればと考えている。2026年6月24日(水)に3回目として開催した。

2. 交流会当日

今回は山田憲明構造設計事務所の山田憲明さんをお迎えし、若手技術者に向けてご講演頂くと共に、飲食を伴いながらカジュアルな雰囲気の中で色々なお話を伺った。会場は今回、(株)安井建築事務所さんにご協力いただき、東京事務所をお借りした。

講演の序盤は、山田さんのこれまでの歩みと設計思想についてお話し頂いた。増田建築構造事務所時代まで遡り、当時の修行時代に培った構造計算の基礎や、構造設計に対する真摯な向き合い方について率直に語られた。また、独立直後のお話では、自らの事務所を立ち上げた際のご苦労や、いかにして信頼を獲得し独自の作風を確立していったかというリアルなキャリアの歩みを共有いただいた。さらに、年齢ごとに担当した物件の紹介では、中大規模木造建築の旗手として第一線を走り続ける山田さんならではの実績を幅

広くご紹介いただいた。伝統的な木組みの技術を現代の構造技術へと昇華させた事例から、木と鉄骨・RCを組み合わせた独創的な混構造、先進的な大空間の実現に至るまで、木材という素材の可能性を引き出すアプローチに触れられた。さらに意匠設計者からの哲学的な要求に対して、空間の美しさを共に導き出すコミュニケーションの重要性を語られ、設計に対する熱い情熱を伝える場面は若手技術者にとって非常に強い刺激となった。交流会の後半からは、主催者や参加者の質問に対して山田さんに回答いただきながら交流する形式で進行的した。若手へのアドバイスや設計者としての心構えなど、一つひとつの質問に対して丁寧に熱く語っていただき、参加者との間で活発な質疑応答が行われた。

3. まとめ

今回の交流会の参加者は、40名(正会員13名(若手部会除く)、賛助会員6名、非会員20名、学生会員1名)となった。講演では自身の若手時代から今に至るまでの経験や、構造技術を起点とした先進的な木造設計のあり方など多岐にわたり、後半の質疑応答でも設計者としての確固たる姿勢を熱く語っていただいた。JSCA 若手部会では今後もこのような活動を積極的に行い、構造設計業界のつながりをつくりながら、同時に切磋琢磨できる場を提供できればと考えている。各社の構造設計者のつながりも強くなる良い機会でもあり、次回も多くの方にご参加いただきたいと願っている。



会場の様子